

ハラスメント撲滅標語 入賞者発表

最優秀賞

令和6年12月10日

見るべきは 自身の行動 出す言葉	まわりの姿ばかり見て自分の行い、発言を見返そうとしていないのではないのでしょうか。まず見るべき事、変えるべき事は自分の行いや発言なのではないのでしょうか。自分と今、未来は変えることができる。まずは自分が変わり示していくことが大切
------------------	--

優秀賞

我が職場 パワハラセクハラ 火元ゼロ	種々のハラスメントを生み出さない、ハラスメントの火元、火種を作らない環境をまずは自分の職場から作っていき、という想いをこめた。また消防職員として火元、火種の言葉を使うことで組織全体の共通認識になると思った。
人の批判 はじめは些細な 噂から	人は噂話をするとします。職員間でもよく噂話を耳にします。〇〇が〇〇だと言っていたと他人から聞くこともあります。はじめに言った人はほんの些細な気持ち、批判しているという自覚は無くても、周り周って噂されていた人が聞き及んだ場合、それは立派な批判になっています。この標語は、噂話を言った人は批判しているかもしれないという自覚を持って欲しいし、聞いた人は批判に繋がる話に同調しないで欲しい。そんな思いで考えました。

入賞

助けよう ハラスメントの 火の手から	ハラスメントをしないこと、させないことはもちろん大切です。しかし、ハラスメントを受けている人、受けそうな状態の人を助けることも大切と思い、この標語にしました。消防ばく、ハラスメントを迫りくる火の手のように表現しました。
そろそろ辞めんと？ハラスメント(〇_〇)	先輩後輩限らず相手を想いやる言葉遣いをして欲しい想いです。
救える心 あなたの行動で 変わる未来	2つの想いを込めています。 1つ目 職場でパワハラを見かけたとき、相手に寄り添い、勇気を持って早期に行動（相談や解決策を考える等）する事でパワハラを無くし当事者の心を救い、職場環境が良い方向へ変わっていく。 2つ目 自分はやったつもりはなくても、相手にとってはパワハラととられる可能性もあるということを日頃から意識して行動することで、無意識に傷つけてしまっていたかもしれない心を救う事ができ、職場環境が良い方向へ変わっていく。